

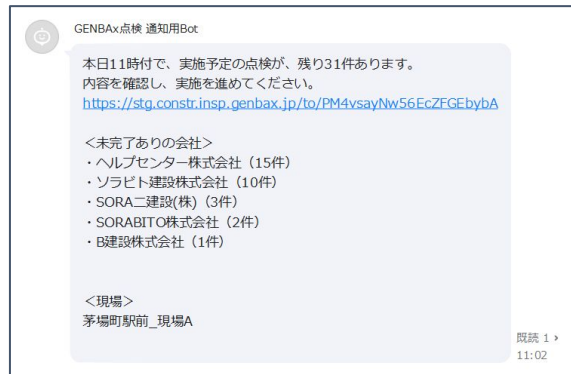
GENBAx点検 マニュアル - 「LINE WORKS」連携 -



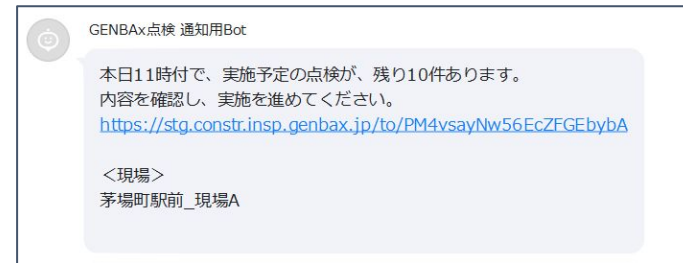
・「LINE WORKS」との連携でできること	02ページ
・LINE WORKS連携設定のフロー	03ページ
・1.システム設定	05ページ
・2.現場・グループ通知先設定	19ページ
・3.個人通知設定	25ページ
・「LINE WORKS」連携のQ&A集	29ページ

GENBAX点検で受信可能なメール通知を、「LINE WORKS」のトークで受信できる機能です。
組織/グループを含む複数人でのトークと、1:1の個人向けトークの2種類を受け取れます。

複数人トーク



個人(1:1)

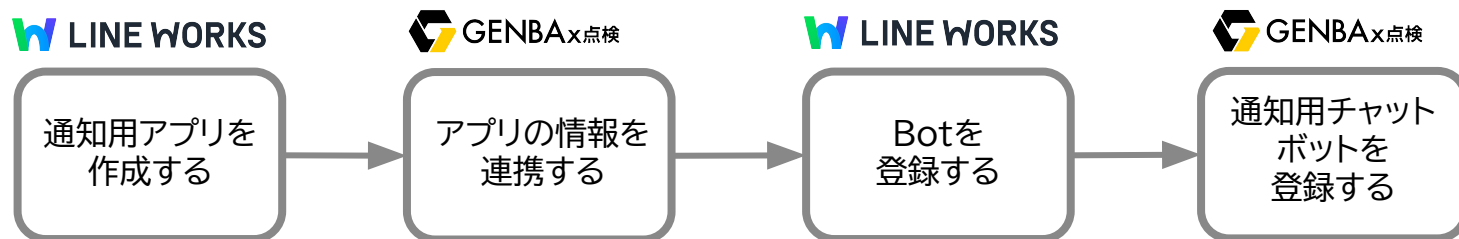


通知内容	複数人トーク	個人(1:1)	通知のタイミング
全体の点検状況	○	○	現場指定の時刻（休工日を除く）
未完了の点検予定	○ (現場*)	○ (所属会社*)	現場指定の時刻（休工日を除く）
是正報告依頼 (安全パトロール)	○	○	所属現場の是正報告依頼が作成された時
是正報告完了 (安全パトロール)	○	○	所属現場の是正報告が完了した時
承認依頼		○	ユーザ本人に対し承認依頼が発生した時

*グループ宛には現場全体の未完了の点検予定が、個人宛には所属する会社の未完了の点検予定が配信されます。

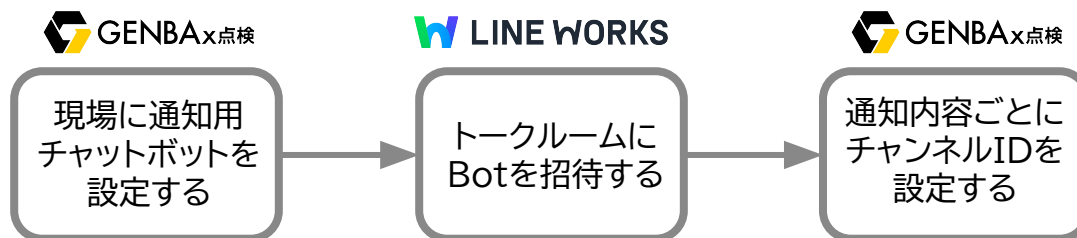
LINE WORKS連携設定のフロー

① システム設定



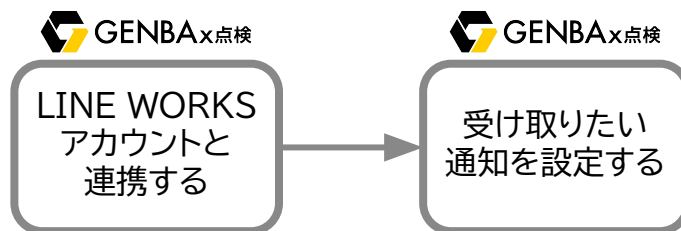
LINE WORKS通知を初めて利用する際に企業単位で設定
※ LINE WORKS側の最高管理者/副管理者権限が必要です

② 現場設定・グループ通知先指定



現場単位で設定

③ 個人通知設定



ユーザ単位で設定

LINE WORKSで外部ユーザーの方はご利用いただけません。

目次

システム設定

1-1.通知用アプリを作成する	5ページ
1-2.アプリの情報を連携する	10ページ
1-3.Botを登録する	13ページ
1-4.通知用チャットボットを登録する	17ページ

現場・グループ通知先設定

2-1.現場に通知用チャットボットを設定する	19ページ
2-2.トークルームにBotを招待する	21ページ
2-3.通知内容ごとにチャンネルIDを設定する	23ページ

個人通知設定

3-1.LINE WORKSアカウントと連携する	25ページ
3-2.受け取りたい通知を設定する	27ページ

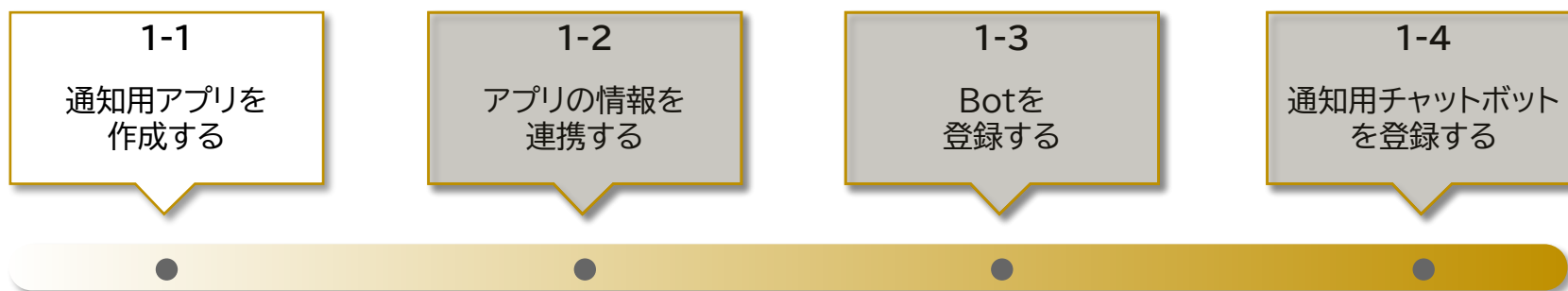
「LINE WORKS」連携のQ&A集	29ページ
---	-------

LINE WORKS 対象権限
最高管理者/副管理者

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

ーシステム設定ー

1-1.通知用アプリを作成する



1-1.通知用アプリを作成する①

*実施可能な権限 GENBAx点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

「GENBAx点検」のチャット連携設定画面を開きます

1



【GENBAx点検】[組織管理]メニューから、[会社情報]欄の[チャット連携設定]画面を開いておきます。

The screenshot shows the GENBAx point inspection system interface. On the left, the 'Organization Management' menu is highlighted. The main area shows the 'Company Information' section with a 'Chat Collaboration Settings' button. A red box highlights this button. A red arrow points from the button to the 'Chat Collaboration Settings' screen below. The 'Chat Collaboration Settings' screen has a 'New Registration' button and a 'LINE WORKS Settings' section with a 'Set' button.

この画面を開いたままにしておきます

ポイント

【組織管理】メニューが無い方(権限:現場管理者/現場担当者)は、以下の手順で【現場一覧】メニューからの設定が可能です。

The screenshot shows the GENBAx point inspection system interface. On the left, the 'Site List' menu is highlighted. The main area shows the 'Site Details' screen with a 'Edit' button. A red box highlights this button. A red arrow points from the button to the 'Site Details' screen below. The 'Site Details' screen has a 'Chat Collaboration' section with a 'Set' button.

[現場一覧]メニューより、任意の現場を選択する

[現場詳細]画面の右下の[編集する]を押下する

チャット連携[通知用チャットボット]の[設定する]を押下すると[チャット連携設定]画面に遷移します

*既に企業でチャット連携がなされている場合、[現場単位の設定](#)に遷移します

1-1.通知用アプリを作成する②

*実施可能な権限 GENBAX点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

通知用のアプリを「LINE WORKS」に作成します

2



LINE WORKSのDeveloper Console(Client App)を、以下のリンクより開きます。(PDFから直接リンクします)

LINE WORKS Developer Consoleを開く

<https://dev.worksmobile.com/jp/console/openapi/v2/app/list/view>

*Developer Consoleが開かない場合、権限がありません。
LINE WORKSの権限変更については[こちら](#)をご確認ください

ポイント

リンクを開く際に新しいタブで開くと、
本マニュアルを開いたままの操作が可能になります。

LINE WORKS Developer Consoleを開く

<https://dev.worksmobile.com/jp/console/openapi/v2/app/list/view>

右クリックをして
[新しいタブで開く]を押下

新しいタブで開く

分割ビューでリンクを開く

新しいウィンドウで開く

3

[ClientApp]画面

Console>API>ClientAppメニュー画面が表示されます。
アプリの新規追加を押下します。



アプリの名前を入力し
[同意して利用する]
を押下します

アプリの新規追加

☒ 認証アプリ ☐ プロビジョニングアプリ

GENBAX点検

アプリ名を入力
例)GENBAX点検

- 入力できる文字数は20字です。
- 既存のアプリと同じ名前は使用できません。
- 「追加」をクリックすると、Client IDが生成されます。

同意して利用する

キャンセル

1-1.通知用アプリを作成する③

*実施可能な権限 GENBAX点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

アプリ作成のための情報を設定、入力します

4

[アプリ情報]画面の[アプリ情報]欄にて、アプリの説明を入力します。

Developer Console

Console

API

ClientApp

Statistics

Bot

SSO

組織連携

Domain ID: []

Tenant ID: []

アプリ情報

OAuth2.0ベースの認可システムを利用できます。アプリ情報を入力してください。

アプリ情報

アプリ名

GENBAX点検

入力できる文字数は20字です。

既存のアプリと同じ名前は使用できません。

アプリの説明

GENBAX点検通知用

例)GENBAX点検通知用

アプリのアクセス権限

すべてのメンバー

特定のメンバー

5

同じ[アプリ情報]画面の下方に進みます。
[認証情報]欄[OAuth Scopes]の[管理]を押下します。

OAuth Scope の選択

アプリが利用する Scope を選択してください。

- ご利用のプランによっては、一部のScopeは表示されません。
- openid Scopeを利用するとID Tokenを発行できます。ただし、Service Account認証では利用できません。
- openid Scope に profile、email Scope を組み合わせることで、ID Token のペイロードに追加のクレームを含めることができます。

Scope	説明
<input checked="" type="checkbox"/> openid	(OpenID Connect専用) IDトークンによるメンバー情報の取得。OpenID Connect (OIDC) を利用する場合はこのscopeが必須
<input checked="" type="checkbox"/> profile	(OpenID Connect専用) メンバーのプロフィール情報 (名前など) の取得。openid scopeと共に使用
<input type="checkbox"/> email	(OpenID Connect専用) メンバーのメールアドレス情報の取得。openid scopeと共に使用
<input type="checkbox"/> board	掲示板サービスへの書き込み/読み取り権限: 掲示板の管理、投稿およびコメントの取得/追加/修正/削除
<input type="checkbox"/> board.read	掲示板サービスへの読み取り権限: 掲示板/投稿/コメントの取得
<input checked="" type="checkbox"/> bot	Bot機能の書き込み/読み取り権限: Bot情報、リッチメニュー/固定メニューの管理、コンテンツのアップロード/ダウンロード、メッセージの送信、WOFF

保存 キャンセル

以下の3項目を
チェックします

- openid
- profile
- bot

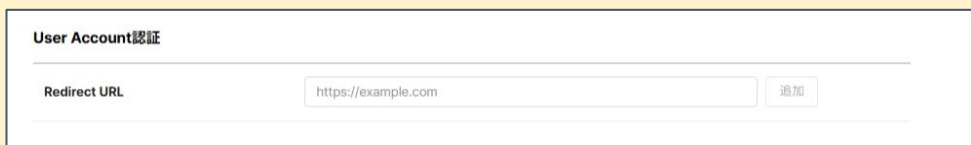
[保存]を
押下します

1-1.通知用アプリを作成する④

*実施可能な権限 GENBAX点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

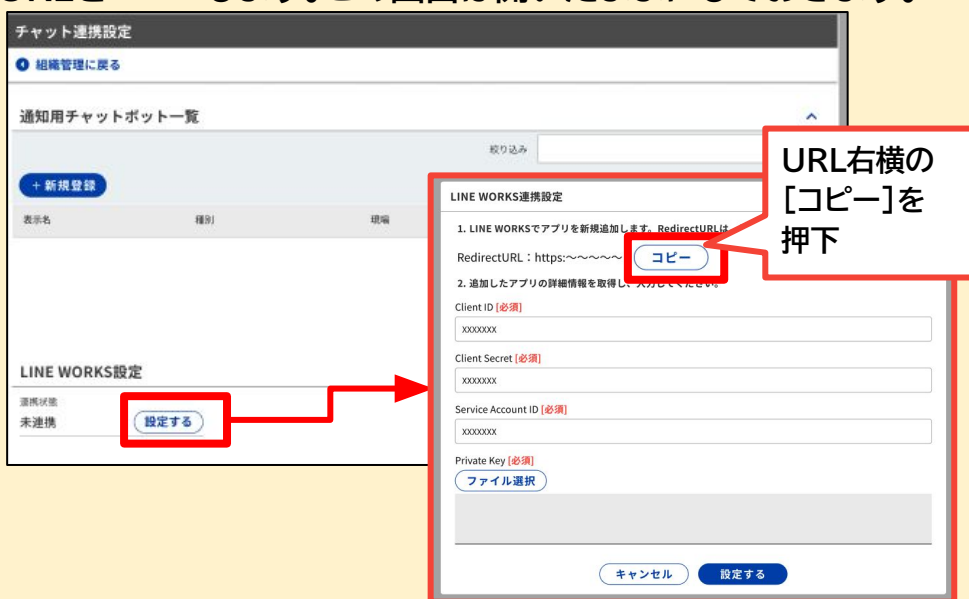
入力したアプリ情報を保存します

- 6 同じ[アプリ情報]画面の下方に進みます。
[User Account認証]欄にて、RedirectURLを取得するため、
①の「GENBAX点検」の画面に戻ります。



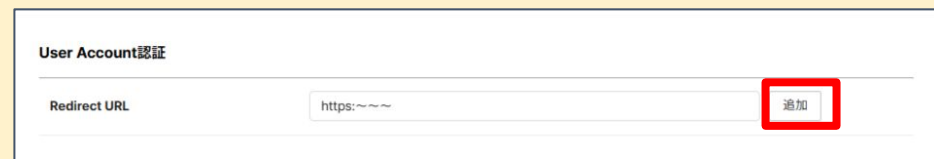
- 7 GENBAX点検 [チャット連携設定]画面

GENBAX点検に戻り、[LINE WORKS設定]欄[設定する]を押下し、URLをコピーします。この画面は開いたままにしておきます。



- 8 LINE WORKS [アプリ情報]画面

LINE WORKSの画面に戻り、コピーしたURLを[Redirect URL]に貼り付け、[追加]を押下します。



アプリ情報の入力内容を確認し、
保存を押下し、アプリ情報を登録します。



保存後、アプリ名が表示された画面に遷移します。
このまま連携の設定に進む場合は、LINE WORKSと
GENBAX点検の双方の画面を戻さず、そのままにしてくだ
さい。

RedirectURLが正しく追加されていない場合、個人通知を受け取れません

LINE WORKS 対象権限
最高管理者/副管理者

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

ーシステム設定ー

1-2.アプリの情報を連携する



1-2.アプリの情報を連携する①

*実施可能な権限 GENBAx点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

連携の設定を行います①

1

1-1の手順から、双方の画面を開いた状態にします。

- LINE WORKSの[Client ID]/[Client Secret]項目をそれぞれコピーし、GENBAx点検の各項目に貼り付けします。
- LINE WORKSので[Service Account ID]を発行&コピーし、GENBAx点検に貼り付けします。

The image shows two side-by-side screenshots of web interfaces. The left screenshot is the LINE WORKS Developer Console, and the right is the GENBAx点検 [LINE WORKS連携設定]画面. Red arrows and callouts indicate the steps to link the two services.

LINE WORKS 設定アプリの詳細画面

1-1の手順から、双方の画面を開いた状態にします。

- LINE WORKSの[Client ID]/[Client Secret]項目をそれぞれコピーし、GENBAx点検の各項目に貼り付けします。
- LINE WORKSので[Service Account ID]を発行&コピーし、GENBAx点検に貼り付けします。

①Client IDをコピー

②Client Secretをコピー

③Service Accountを発行し

③発行されたAccountIDをコピー

GENBAx点検 [LINE WORKS連携設定]画面

1. LINE WORKSでアプリを新規追加します。RedirectURLは、以下をコピーして入力してください。

Redirect URL: [コピー]

①Client IDを貼り付け

②Client Secretを貼り付け

③Service AccountIDを貼り付け

Client ID [必須] XXXXX

Client Secret [必須] XXXXX

Service Account ID [必須] XXXXX

Private key [必須] ファイルを選択 (必須) ファイルから読み込み可能です。PEMファイルを選択してください。

キャンセル 設定する

*Service Account発行時に「管理者と同権限のアカウント作成」注意画面が出ます。[OK]を押して進めてください。

1-2.アプリの情報を連携する②

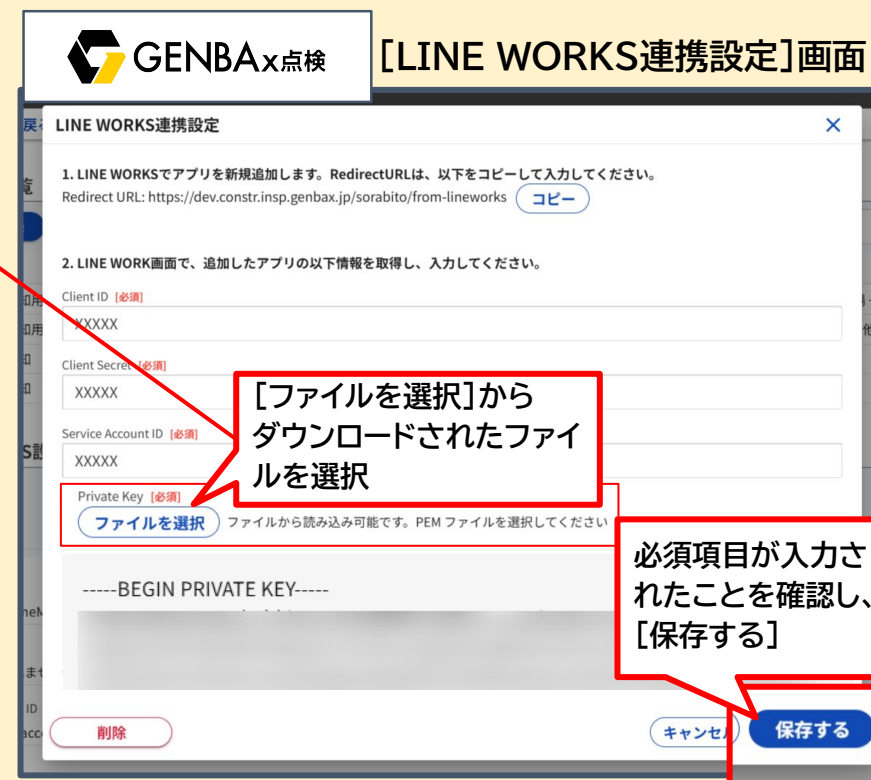
*実施可能な権限 GENBAx点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

連携の設定を行います②

2

①からページを変えずに設定を進めます。

- LINE WORKSで[Private Key]を発行し、ファイルをダウンロードします。
- GENBAx点検の[Private Key]の[ファイルを選択]し、直前でダウンロードしたファイルを選択します。
- 必要な情報が入力されていることを確認して、[保存する]を押下します。



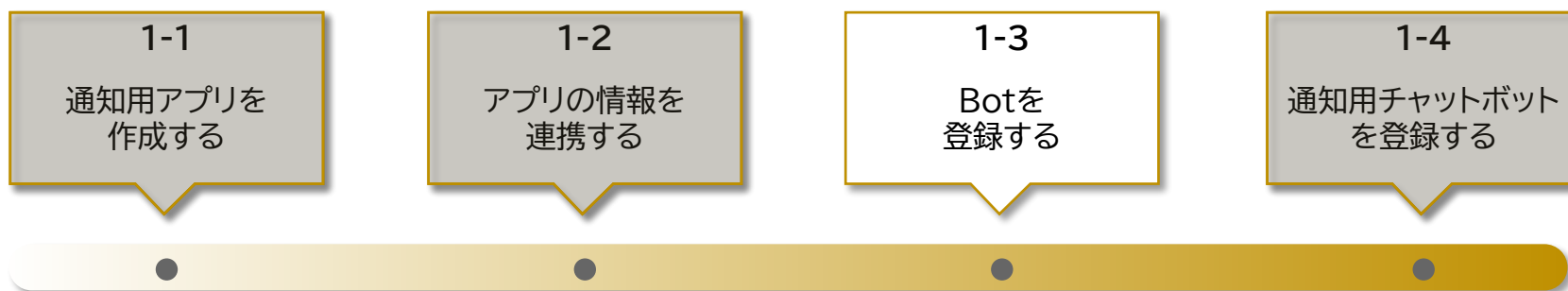
*Private Key発行時に情報管理に関する注意画面が出ます。[OK]を押して進めてください。また、情報の取り扱いにはご注意ください。

LINE WORKS 対象権限
最高管理者/副管理者

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

ーシステム設定ー

1-3.Botを登録する



1-3.Botを登録する①

*実施可能な権限 GENBAX点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

LINE WORKSのBotを登録します

1 **LINE WORKS** [Bot]画面
LINE WORKSのDeveloper Console(Bot)を、以下のリンクより開きます。(PDFから直接リンクします)

Developer Console>Botを開く

<https://dev.worksmobile.com/console/bot/view>

*[Developer Console]画面の左側 [Bot]メニューを押下しても
同じ画面に到達します



[Bot]画面で[登録]を押下します。

A screenshot of the Bot registration form. At the bottom right, the '登録' (Register) button is highlighted with a red box and a mouse cursor pointing at it. The form includes fields for Bot name, search conditions, and a checkbox for '自分が担当するBotのみ表示'.

2 [Bot登録]画面に進み、必須項目の入力、設定をします。
終了後、[保存]します。

A screenshot of the Bot registration form with several fields and settings highlighted by red boxes and callouts:

- Bot名**: 100文字以内で入力してください。 (Callout: Bot名を入力 例)GENBAX点検通知用Bot)
- 説明**: 100文字以内で入力してください。 (Callout: 「説明」を入力 例)GENBAX点検通知用Bot)
- Bot ID**: Botの登録完了時に発行されます。
- 固定メニュー**: 固定メニュー登録API で設定します。
- Callback URL**: On (radio button selected) / Off (radio button).
- Botポリシー**: トークルームへの招待 (Callout: [複数人のトークルームに招待可]にチェック)
- 主担当**: 名前またはメールアドレスを検索 (Callout: [主担当]にご自身のユーザー名を検索し、追加)
- 副担当**: 名前またはメールアドレスを検索
- 保存**: 保存 (Callout: [保存]する)

1-3.Botを登録する②

*実施可能な権限 GENBAx点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

作成したBotの利用設定をします

3

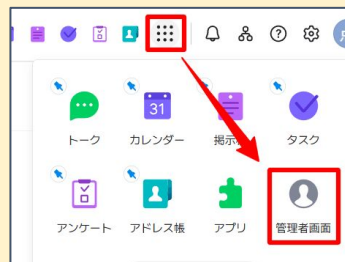
LINE WORKS [Bot]画面

LINE WORKSの管理者画面を、以下のリンクより開きます。
(PDFから直接リンクします)

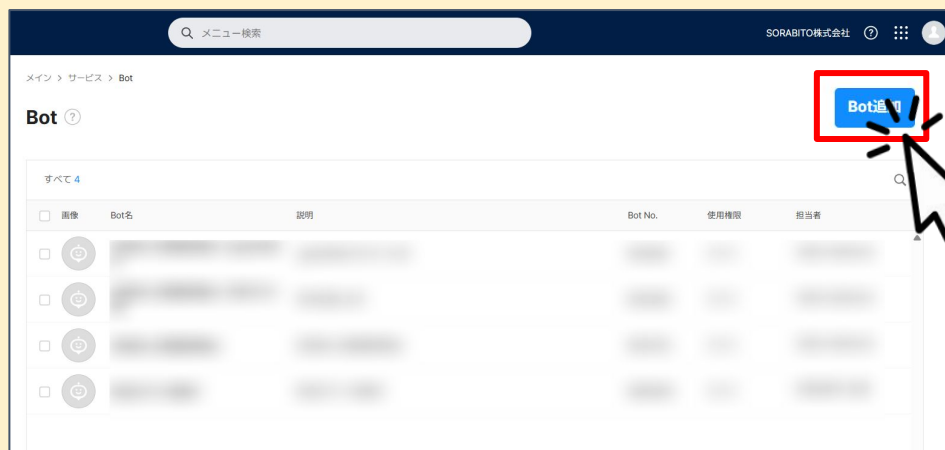
管理者画面>サービス>Botを開く

<https://admin.worksmobile.com/service/bot>

*LINEWORKSの右上のメニューから、[管理者画面]への遷移も可能です。管理画面左メニューの、サービス>Botを選択します。



[Bot]画面で[Bot追加]を押下します。



4

[Bot追加]画面で、③で作成したBotをリストから選択します。



Botの詳細画面が表示されます。
[Bot追加]を押下します。

Bot追加 前に戻る

Botが追加され、リストから追加したBotが消えます。上部の[前に戻る]で1画面戻ります。

1-3.Botを登録する③

*実施可能な権限 GENBx点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

作成したBotの設定を完了させます

5

[Bot]画面に戻り、④で追加したBotを選択し修正、公開して保存します。



[修正]を押下



[公開設定]をONに変更

[保存]を押下

保存

設定完了しました



公開されると、
鍵アイコンが消えます

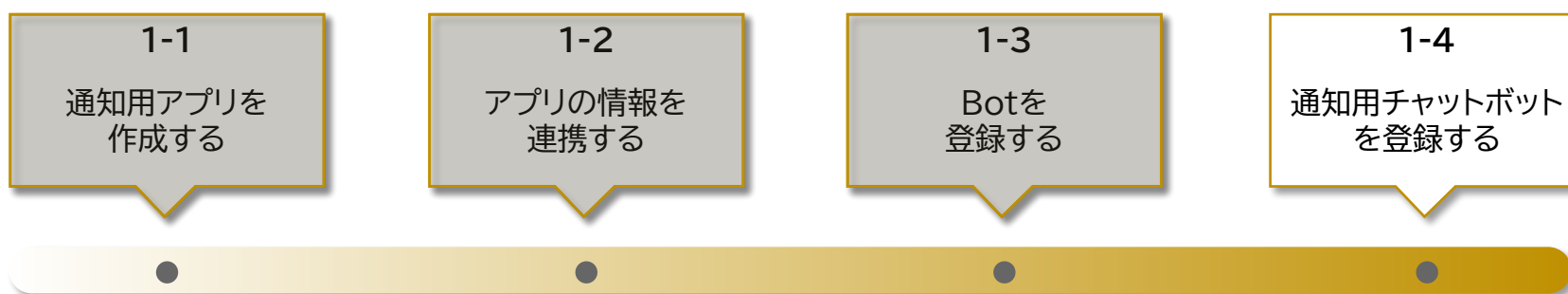
この画面は開いたままにします。

LINE WORKS 対象権限
最高管理者/副管理者

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

ーシステム設定ー

1-4.通知用チャットボットを登録する



1-4.通知用チャットボットを登録する

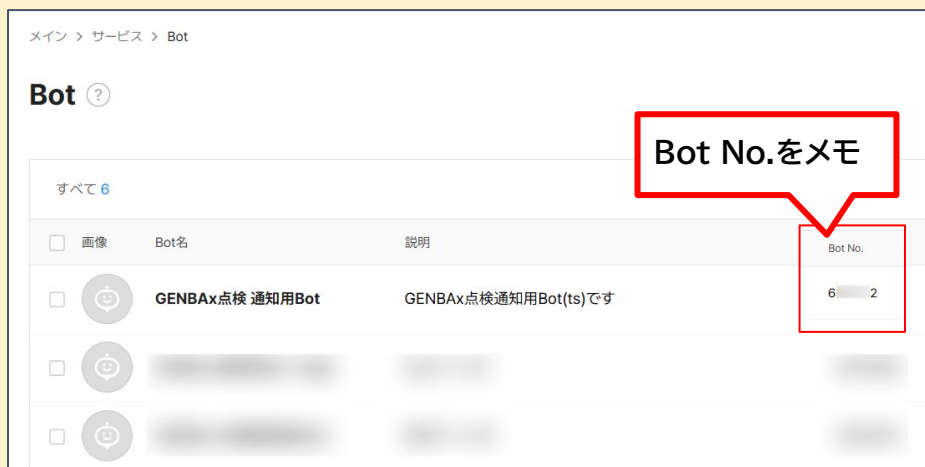
*実施可能な権限 GENBAx点検:自社ユーザすべて、LINE WORKS:最高管理者/副管理者

設定したBotをGENBAx点検に登録します

1

LINE WORKS [\[Bot\]画面](#)

1-3の画面で設定したBotのNo. を控えます。



*設定したいBotが見つからない場合は、[Botを登録する](#)をご確認ください。

2

GENBAx点検 [\[チャット連携設定\]画面](#)

GENBAx点検の画面に戻り、[チャット連携設定]画面の[ChatBot一覧]の[+新規登録]から、[LINE WORKS]を押下します。



①のBot IDを登録します



LINE WORKS 対象権限

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

ー現場・グループ通知先設定ー

2-1.現場に通知用チャットボットを設定する

2-1

現場に通知用チャットボットを設定する

2-2

トークルームにBotを招待する

2-3

通知内容ごとにチャンネルIDを設定する



このページから設定を行う状況例

他現場でLINE WORKS通知ができていて、新しい現場でも設定したい場合

2-1.現場に通知用チャットボットを設定する

LINE WORKSのチャットボットを現場に設定します

1



[現場編集]画面

パソコンで[現場一覧]メニューを開き、設定したい現場を選択します。



*[組織一覧]メニューからも操作可能です

選択した[現場詳細]画面で、右下の[編集する]を押下します

編集する

2

[通知設定]欄のチャット連携で、[設定する]を押下し、[LINE WORKS]を選択します。



使用するLINE WORKSのチャットボットを選択し、[設定]を押下します。

*[設定する]から[チャット連携設定]画面に遷移する場合、[システム設定](#)から実施してください。
*チャットボットが選択できない場合、[他のチャットボットを新規登録]から設定可能です。
[1-4②の画面](#)に遷移します。

グループ通知設定にそのまま進む場合、この[現場編集]画面のままにしておきます。

LINE WORKS 対象権限

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

ー現場・グループ通知先設定ー

2-2.トークルームにBotを招待する

2-1

現場に通知用チャットボットを設定する

2-2

トークルームにBotを招待する

2-3

通知内容ごとにチャンネルIDを設定する

2-2.トークルームにBotを招待する

通知を受け取りたいトークルームにBotを招待し、チャンネルIDをコピーします

1

LINE WORKS

[トーク]画面

(パソコンの場合、右上の)[トーク]アイコンを押下し、トーク画面を開きます。



左側に表示された[トークルーム]のうち、通知させたい複数人のトークを選択します。



外部ユーザーの方を含むトークルームには、通知設定ができません。

新たにグループを作成する場合は、LINE WORKS ヘルプセンター内「[グループを作成する方法を教えてください](#)」をご確認ください

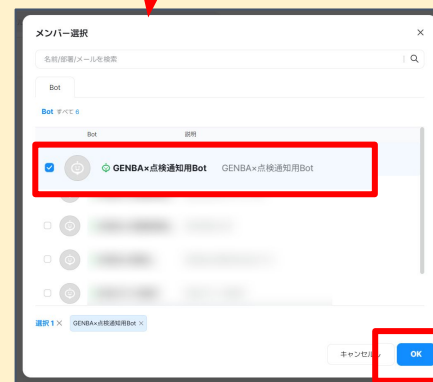
*パソコンでの操作を推奨します

2

トークルームの右上メニュー(⋮)から、[Bot招待]を押下します。



追加したいBotを選択し、[OK]を押下します



*Botを削除したい場合は、グループマスターがトークメンバーから削除します。

*Botが選択できない場合、設定未完了の可能性があり。システムご担当者へご確認ください

3

もう一度トークルームのメニュー(⋮)を開き、[チャンネルID]を押下します。



[チャンネルIDをコピー]を押下します



LINE WORKS 対象権限

GENBAX点検 対象権限
自社ユーザすべて

ー現場・グループ通知先設定ー

2-3.通知内容ごとにチャンネルIDを設定する

2-1

現場に通知用チャットボットを設定する

2-2

トークルームにBotを招待する

2-3

通知内容ごとにチャンネルIDを設定する

2-3.通知内容ごとにチャンネルIDを設定する

GENBAx点検で受け取りたい通知にチャンネルIDを設定する

1



[現場編集]画面

パソコンで[現場一覧]メニューを開き、
設定したい現場を選択します。



*[組織一覧]メニューからも
操作可能です

選択した[現場詳細]画面で、
右下の[編集する]を押下し
ます

編集する

2

チャット連携した状態で、通知させたい内容の[設定]を押下します。



チャンネルIDを入力し
[検証する]を押下します

*チャット連携ができていない場合は、
[2-1.現場に通知用チャットボットを設定する](#)をご確認ください。

*検証がNGになる場合、まずは対象の
[トークルームにBotが招待](#)されている
かご確認ください。

検証が成功すると
[保存する]を押下し
設定を完了できます



他の通知先も設定し、[現場編集]画面に
戻り[保存する]を押下します。

LINE WORKS 対象権限

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

—個人通知設定—

3-1.LINE WORKSアカウントと連携する

3-1

LINE WORKSアカ
ウントと連携する

3-2

受け取りたい通知
を設定する

3-1.LINE WORKSアカウントと連携する

マイアカウントから、LINE WORKSのアカウントを連携します

1



[マイアカウント]画面

[マイアカウント]を開き、
[編集する]を押下します。

*パソコンでもスマートフォンでも
設定可能です

LINE WORKSの外部ユーザーの
方は設定できません。

2

[LINE WORKS通知設定]欄の「通
知先アカウント名」の[設定する]を押
下します。

確認画面が表示され[設
定する]を押下します。

3

「LINE WORKS」画面に遷移します。
ご自身のアカウントでログインをしてくだ
さい。

ログインID(@「ドメイン名」)
とパスワードを入力します
*ログインID例:
XXX@sorabito

*同じ端末でログイン済み
の場合、ログイン操作する
ことなく遷移します。

「GENBAX点検」に戻り、LINE WORKSの
アカウント名が表示されました。

連携を解除したい場
合は、[解除する]を
押下します

LINE WORKS 対象権限

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

—個人通知設定—

3-2.受け取りたい通知を設定する

3-1

LINE WORKSアカ
ウントと連携する

3-2

受け取りたい通知
を設定する

3-2.受け取りたい通知を設定する

受け取りたい通知内容を設定します

1

[マイアカウント編集]画面([マイアカウント]>[編集する])を開きます。
[LINE WORKS通知設定]欄で、通知させたい内容を指定します。設定後、[保存する]を押下します。

三 アカウント編集

マイアカウントに戻る

LINE WORKS通知設定

通知先アカウント名
一郎 点検 解除する

通知内容ごとの受信設定

茅場町駅前_現場A

全体の点検状況 (10, 12, 16時) ☐

未完了の点検予定 (12, 16時) ☒

安バト是正報告依頼 (即時) ☒

安バト是正報告完了 (即時) ☐

初期設定 (現場所属時)

全体の点検状況 ☒

未完了の点検予定 ☒

安バト是正報告依頼 ☐

安バト是正報告完了 ☐

キャンセル 保存する

ポイント

承認依頼は、アカウント連携後、設定なしに通知を受け取れるようになります。

該当現場の通知設定が記載されています。ON/OFFを切り替えます。
*括弧内は配信時間や頻度です。「時刻未設定」の点検を受け取りたい場合は、現場の通知設定の変更が必要です

別の現場に所属する際の初期設定を指定できます

*各通知内容の詳細は [こちら](#) をご確認ください

注意

該当現場の通知を受けるには、以下の条件が必要です。

□ 該当現場にLINE WORKSのチャットボットが連携されていること

□ [通知先アカウント名] (ご自身のアカウント) が、LINE WORKS連携した企業(テナント)のユーザーであること (外部ユーザーはご利用いただけません)

チャットボット連携状況については、該当現場の通知設定をご確認ください。

LINE WORKS 対象権限

—

GENBAx点検 対象権限
自社ユーザすべて

「LINE WORKS」連携のQ&A集

LINE WORKSのシステム設定に必要な情報は、どこから取得できますか。

LINE WORKSの「Developer Console」でアプリを登録する必要があります。この操作にはLINE WORKSで最高管理者または副管理者の権限が必要です。詳細は「[1-1.通知用アプリを作成する](#)」をご確認ください。

通知させたいLINE WORKSのトークルームに、Botを招待できません。

以下の可能性が考えられます。

- ・外部ユーザー(外部LINE WORKSユーザー/LINEユーザー)を含むトークルームでは、Botを招待ができません
- ・登録したBotが「非公開」の場合、招待ができません。(参照:[1-3.Botを登録する③](#))

Botは現場ごとに作成が必要ですか。

不要です。1つのBotを複数現場でご利用いただけます。

協力会社ユーザの方でもLINE WORKSの通知を受け取れますか。

協力会社ユーザの方がLINE WORKS内で同一テナントのアカウントとして登録している場合のみ、通知を受け取れます。外部ユーザー(外部LINE WORKSユーザー/LINEユーザー)の方はご利用いただけません。

LINE WORKSに登録している外部ユーザー(協力会社ユーザ)に通知するには、どうしたらいいですか。

自動通知はできません。スマートフォンのアプリから、該当のトークルームへ通知メッセージの転送をお願いします。

グループ通知を受信できません。

以下が原因の可能性があります。設定をご確認ください。

- ・LINE WORKSの該当のトークルームにBotは招待されていますか。(参照:2-2)
- ・GENBAX点検の「通知用チャットボット」に該当のBotが登録されていますか。(参照:1-4)
- ・該当現場の通知用チャットボットは設定が完了していますか。(参照:2-1)
- ・通知時刻は設定され、通知そのものがONになっていますか。(参照:2-1)

個人通知を受信できません。

以下をご確認ください。

- ・社内メンバー以外(LINE WORKSの外部ユーザー)は設定ができません。
- ・該当現場の通知用チャットボットは設定が完了していますか。(参照:2-1)
- ・通知そのものがONになっていますか。(参照:3-2)

個人通知の設定でエラーが表示されます。

- ・LINE WORKSの通知用アプリ設定でRedirectURLが正しく入力されているか確認してください([参照:1-1](#))
- ・LINE WORKSの別テナントに所属するユーザーとの連携設定はできません。所属をご確認のうえ、別アカウントで連携する場合は一度ログアウトのうえ設定してください。

トーク通知のURLをクリックすると、なぜGENBAx点検の再ログインが必要になりますか。

LINE WORKSアプリで通知から開くとアプリ内ブラウザで表示されるため、保存されたログイン情報が引き継がれず再ログインが必要になります。

そのため、再ログインをしていただくか、通常お使いのブラウザ(SafariやChrome)でページを開き直してください*。

*iPhone:右下の[Safariで開く]を押下、Android:右上の[□]→[ブラウザで開く]を押下

テスト現場でチャット連携ができません。

テスト現場は設定変更ができません。他の現場での設定をお願いします。

LINE WORKSのシステム連携設定情報を、確認や変更、削除することはできますか？

システム設定は、[組織管理]メニューから、確認や編集、削除することができます([参照:1-1](#))。権限が現場管理者/現場担当者の場合は変更できません。システム管理者/支店管理者権限の方に、ご確認をお願いします。

SORABiTO